

**“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第30回記念大会 記者発表会
速報! ミック・ドゥーハン氏と平忠彦氏の来賓出席決定!!
一般公開の記者発表会で、夢のタッグがよみがえる!**



ミック・ドゥーハン氏の走り。1991年鈴鹿8耐(決勝・優勝)にて

鈴鹿8時間耐久ロードレースはもちろんのこと、世界GP 500ccクラスでホンダのエースとして栄光の記録を残したミック・ドゥーハン氏と、全日本ロードレース選手権や世界GPで活躍し鈴鹿8耐でも数々のドラマを生み出した平忠彦氏が、3月30日(金)13:00に東京ビッグサイト内の東京モーターサイクルショー会場特設ステージで行なわれる、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第30回記念大会 記者発表会(一般公開)への来賓出席が決定した。

ドゥーハン氏と平氏は、1988年の第11回“コカ・コーラ”鈴鹿8耐にペアを組んで出場。この時は、常にトップグループを走行するもレース終了の約10分前の午後7時20分、3位を走行中にトラブルが発生して、チェッカーを受けられずに9位となった。

ドゥーハン氏は1989年にHondaNSR500を駆り、世界GP 500ccクラスにデビュー。以降、1999年に現役を引退するまでに通算54勝をマークし、当時として歴代2位(※1)の優勝回数を誇るとともに、1994年からは5年連続で王者の座に君臨するなど、まさに一時代を

築いた著名なライダーだ。もちろん鈴鹿8耐にも豊富な参戦経験を持ち、1988年に平氏とペアを組んで出場した翌年からは、ホンダのワークスライダーとしてワイン・ガードナー氏とのペアで参戦。平氏とは良きライバルとして鈴鹿8耐の舞台に立ち、1990年には自身のマークしたタイムでポールポジションを獲得すると、翌1991年に初優勝を遂げている。平氏は、1985年から本格的に“コカ・コーラ”鈴鹿8耐の参戦をはじめたが、その初年度は、2年前に引退を表明し現役生活から離れていたケニー・ロバーツ氏とペアを組み注目を集める。しかし、トップを快走中の午後7時1分、チェッカーまで約30分のところでマシントラブルによって17位という結果となった。そして平氏の苦闘はここからスタートし、毎年、優勝候補として注目を集めるものの勝つことができずにいたが、遂に1990年の第13回大会、エディ・ローソン氏とのペアで初優勝を遂げ悲劇の伝説に終止符を打つこととなった。

さて、今回はサーキットを離れた場ではあるが、鈴鹿8耐という共通のキーワードの下、1988年以来19年ぶりに両雄がゲストとしてタッグを組むことになった。第30回という記念すべき大会の記者発表会席上で、一般公開で開催ということもあり、当時の話はもちろん、鈴鹿8耐ならではの裏話が明かされる。

※1:最高峰クラス(500ccおよびMotoGPクラス)の歴代優勝回数は、現在ジャコモ・アゴスチーニ氏の68勝、バレンティーノ・ロッシ選手の58勝、そしてドゥーハン氏の54勝の順となっています。

**“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース
第30回記念大会記者発表会 一般公開概要**

日時: 2007年3月30日(金)13:00開演(一般公開)

場所: 東京ビッグサイト内 ※入場料が必要です※

第34回東京モーターサイクルショー会場 特設ステージ

※入場料など会場の詳細については、東京モーターサイクルショー Webサイトをご覧ください。 <http://www.motorcycleshow.org/>

4月1日(日)、スーパーバイクinもてぎにドゥーハン氏来訪決定!!

ドゥーハン氏は、“コカ・コーラ ゼロ”鈴鹿8時間耐久ロードレース第30回記念大会記者発表会後も、4月1日(日)にツインリンクもてぎで開催されるMFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦「スーパーバイクレース in もてぎ」に会場イベント参加も予定しており、世界GPの500ccクラスをともに闘った伊藤真一選手やノリックこと阿部典史選手とも再会することになるだろう。

**MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ第1戦
スーパーバイクレース in もてぎ**

3月31日(金)予選・4月1日(日)決勝

ツインリンクもてぎ ロードコース 1周 4,801.379m

開催クラス: JSB1000/ST600/GP250/GP125/
GP-MONO

■ミック・ドゥーハン氏

- 鈴鹿8耐の主な成績

年	成績	パートナー
1987	49位	ロドニー・コックス
1988	9位	平忠彦
1991	優勝	ワイン・ガードナー
1993	4位	ダリル・ビーティ

- 世界GP500シリーズチャンピオン5回
レース優勝54回(現在、歴代3位)

■平 忠彦氏

- 鈴鹿8耐の主な成績

年	成績	パートナー
1980	39位	三原嗣厚
1985	17位	ケニー・ロバーツ
1986	—	クリスチャン・サロン
1988	9位	ミック・ドゥーハン
1989	45位	ジョン・コシンスキー
1990	優勝	エディ・ローソン
1995	—	根本健
1996	24位	クリスチャン・サロン

- 全日本GP500シリーズチャンピオン3回